

第四銀行と北越銀行の経営統合が成就 –グループの経営戦略などを精査し格付へ反映

以下は、株式会社第四銀行および株式会社北越銀行（共に証券コードなし）が、共同株式移転の方式により、両行の完全親会社となる株式会社第四北越フィナンシャルグループ（証券コード：7327）を設立したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 10月1日に、第四銀行および北越銀行（両行）が、共同株式移転の方式により、両行の完全親会社となる第四北越フィナンシャルグループを設立したことを公表した。また、同時に、18年10月から24年3月にかけてのグループ中期経営計画の概要、並びに、両行は21年1月に合併およびシステム統合を実施する予定であることが公表されている。今後、21年1月に合併した後に、隣接する店舗約50店舗の統合と本部組織のスリム化により人員を捻出し、営業人員などの増加と、人件費およびシステム経費の削減を進める方針としている。20年度までは、システム統合費用など経営統合に伴う費用（マイナスシナジー）が、シナジー効果を上回る見込み。ただし、25年度におけるシナジー効果を単年度で100億円と計画、うちコストシナジーを75億円、トップラインシナジーを50億円、マイナスシナジーの影響を25億円と見込んでいる。
- (2) 現在 JCR では、両行の格付をクレジット・モニターの対象として指定している。今後、グループの経営戦略などを精査したうえで、グループ信用力を勘案した両行の格付を速やかに公表する方針である。

（担当）阪口 健吾・大石 剛

【参考】

発行体：株式会社第四銀行
長期発行体格付：#AA-/ネガティブ

発行体：株式会社北越銀行
長期発行体格付：#A/ポジティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル